

①健康・生活

- ・ 定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握）
- ・ 生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）
- ・ 構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援
（視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示）
- ・ SST などによる身体的、精神的、社会的訓練
- ・ 衣服の着脱（外遊びや水遊び等の活動の前に重点的に取り組む）
- ・ 衣服の着脱（服を頭上に掲げる程度の行動を促す）
- ・ 身だしなみや整え方



②運動・感覚

- ・ 姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善
- ・ 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動
- ・ つかむ・支える・滑る等の要素を取り入れた遊具遊びの提供
- ・ ストレッチ、ラジオ体操、軽い運動
- ・ バランスボールでの姿勢保持・ビジョントレーニング
- ・ 音楽に合わせて体を動かす遊びや運動
- ・ 指先トレーニング



③認知・行動

- ・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子の把握
- ・空間・時間等の概念の把握
- ・天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成
- ・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成
- ・粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成
- ・ブロック遊びによる空間把握の認知形成
- ・小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮
- ・ABAなどにより感覚、認知の偏りに対するリフレーミング
- ・季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行事



④言語・コミュニケーション

- ・文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用
- ・はじまりの会で今日の気分・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容
- ・終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容
- ・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き
- ・自己紹介、他己紹介
- ・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化
- ・PECSなどコミュニケーションのスキル向上訓練
- ・手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション



⑤人間関係・社会性

- ・アタッチメント形成（個別面談で自尊心を高める・認める）
- ・活動前に全体を指差しする等を行い、全体を見渡す機会の設定
- ・見本になるこどもの近くに誘う等の関わり・促し
- ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ
- ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ
- ・役割分担のある遊びなどの協同遊び
- ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動
- ・地域施設などへの社会見学
- ・イベントなどを通じた地域との交流



はなのいえ児童発達では、障害のあるお子さまへの発達支援やそのご家族への支援を中心に、日常生活における基本動作や知識技術を習得するためのサポートや、幼稚園などへの入園や小学校入学に向けた集団生活への適応訓練などの支援をおこないます。

本人支援では、上記の①～⑤を取り入れ、お子さまが将来的に日常生活や社会生活を円滑に営めるようにすることを目標として支援していきます。

家族支援では、ご家族が安心して育児を行う事ができるように、さまざまな不安を軽減していくための物理的、また心理的な支援です。

指導後のフィードバックや保護者面談、ご家族の方向けのトレーニングを通じて、お子さまの発達状況や支援ニーズの確認、お子さまとの関わり方やコミュニケーションのとり方などに対する相談や助言を行っています。